

【ヒットルアー】

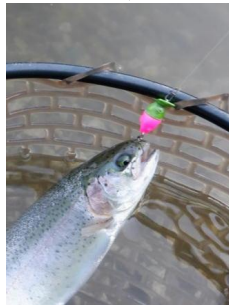
- ・プチモカSR(SS)ミドピーノ 6尾
- ・モカDR(SS)ミドピーノ 2尾
- ・ファットモカJr. SR(SS)ミドピーノ風 2尾
- ・ピコチャタクラDR-SSS ミドピーノ 2尾
- ・モカSR(SS)ミドピーノ 1尾

- ・モカSR(SS)黄オレンジ 3尾
- ・イーグルプレーヤー50slimGJゴールドアーク1尾
- ・不明 1尾
- ミドピーノが活躍

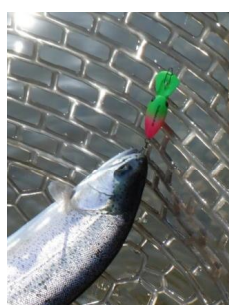
プチモカSR(SS)ミドピーノ



ファットモカJr.SR(SS)ミドピーノ風



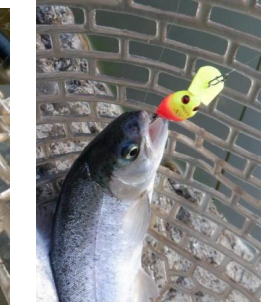
ピコチャタクラDR-SSSミドピーノ



モカSR(SS)ミドピーノ



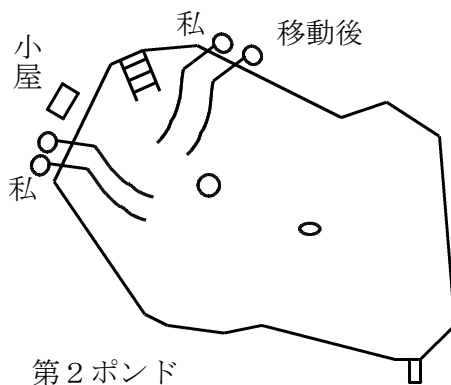
モカSR(SS)黄オレンジ



【ヒットルアー】



<移動後>



【様子】

- 料金 半日午後 男性 ¥4,500 女性 ¥4,000 / ○金曜日は、放流なし、餌撒きなし。
- 晴れ。風なし。水は濁っている。 / ○終了 17:00

【状況】

- 日が当たるところは満席だったので、少しだけ日が当たっている小屋横に入った。
- スタート時はよく当たった。深いところで釣った。
- モカSR(SS)で釣れなくなったので、プチモカSR(SS)を投げることにした。
- モカSR(SS)でカウント10で釣れていたので、プチモカSR(SS)をカウント20で試した。これで当たった。
- ツレにモカSR(SS)を沈めるカウント数を聞いた。カウント7とのこと。プチモカSR(SS)をカウント14で試してと伝えた。釣れた。
 - プチモカSR(SS)の沈下速度はモカSR(SS)の半分と判断してよからう。
 - 同じ棚を釣る場合、プチモカSR(SS)のカウント数はモカSR(SS)の2倍。
- ファットモカJr.SR(SS)を投げることにした。大きさから判断して、カウント15で試してみた。釣れた。しかし、ファットモカJr.SR(SS)のカウント15がモカSR(SS)のカウント10と同じ棚であるという確証まではない。
- ディーブランナー(DR)を試した。モカSR(SS)のカウント10が棚である。5回巻いて潜らせてゆっくり巻いてみた。超スローで5回巻き、当たらないので、誘いを入れた。入れた瞬間にヒット。このDRはモカDR(SS)か、ピコチャタクラDR-SSSか忘れてしまった。
- ツレがペピーノMRを手にしたので、「5回巻いて潜らせて、超スローで巻く」と伝えた。2尾取った。
- これを見て、ペピーノDRを同様に試したが、ダメだった。棚があっていないか、色があっていないか。
- スタッフ安藤さんが見えた。当たりがあっても掛からない、掛かってもばれてしまうという状況で、釣交換以外にどんなことが考えられますかと尋ねた。(後述)
- 安藤さんとのモカについての話題から、ロデオクラフトの福田さんが来ていると教えてもらった。明日はバルケインの大会があり、練習に来ているようだ。
- 14時過ぎ、当たりが遠のいたので休憩を取った。
- 14:30頃、日の当たる場所が空いたので移動した。福田さんの横が空いていたので、声を掛けて入らせてもらった。こちらの方がよく釣れるからと、場所を譲ってもらった。優しい方だ。モカについて福田さんと少しお話できた。嬉しかった。
- 移動後、3尾ほど取ったが、その後、さっぱり当たらなくなった。
- 14:30~15:30 やっぱりこの時間帯は活性が更に低くなる。さっぱり当たらない。
- 16時ごろから小屋前の表層がざわついている。こちらもときどきライズがある。ツレが着パクで掛けたり、沈めている途中で釣ったりしている。しかし、表層では釣れない。この時間帯、自分はさっぱりダメ。ツレは調子よく釣っている。これまでと同じ深いところで釣れていると言う。マスが縦にばらけてきたということか。安藤さんのいう“棚ぼけ”だと思った。
- 福田さんが帰るというので、明日の大会には参加しますかと尋ねたら、参加することのこと。頑張ってくださいと声を掛けた。ありがとうございますと返ってきた。
- 終了5分前、あまりにも釣れないので、プチモカSR(SS)ミドピーノを持って、小屋前へ移動した。2尾取った。

【釣掛かりしないことや、ばれることが続くとき】 スタッフ安藤さんから

- 釣交換以外にどうですかと尋ねた。ドラッグをチェックすることとなった。
- これまでのドラッグ調整では堅すぎる。PEラインを使っていることからもっと緩くすることのこと。
- 私の竿の堅さを見て、ツレより更に緩くした。

<ドラッグ調整>

- ・手でラインを引っ張って、ドラッグがすべるという調子
- ・ラインを引っ張る強さは普通に引く。強すぎず弱すぎずという調子
- ・マスが掛かってラインを巻くと、ちりちりとラインが鳴るという調子

<竿の角度>

- ・ラインと竿を一直線にしない。右巻きの場合、右に少し傾ける。
- ・瞬間的に力が掛かっても竿が吸収し、ラインブレイクを防ぐことができる。

【次回に向けて】

○ 釣掛かりしなかったり、ばれたりということが2回あったら、釣をチェックする。

<モカSR(SS) カウント10と同じ棚を釣る場合>

- ・プチモカSR(SS) カウント20
- ・ファットモカJr. カウント15 (再確認が必要)
- ・ペピーノMR 5回巻いて潜らせる
- ・ディープランナー(DR) 5巻いて潜らせる モカDR(SS)、ピコチャクラDR-SSS

<DRを深く潜らせる>

- ・DRを深く潜らせる場合、5回巻く。それ以上巻いて深く潜らせようとする、助走距離が長くなる。これによって、ヒットレンジを長く引けないので、効果が薄いのではないか。

<巻きスピード>

- ・超スロー : モカSR(SS)の巻きスピード 「ゆっくり」で半周 SSタイプ
- ・スロー : 「ゆっくり」で1周 ペピーノ、フローティングタイプ これ以上遅いと浮いてくる
- ・普通 : 「テエロ」で1周 軽いスプーン 「テエロ」の方が「ゆっくり」より速い
- ・速く : 放流魚をスプーンで

<DR(SS)を潜らせる、沈める>

- ・沈めれば、ヒットレンジを長く引ける。
- ・沈ませるだけ。沈ませてから潜らせる。潜らせてから沈める。これにより釣果が変わる。
- ・例)3回巻いて潜らせ、超スローで5回巻き、誘いを入れる。深いところを探るため、誘いは竿先を上になげずに、横に振る、または、下に引く。

<誘い>

- ・SSを超スローで巻いてくると、ルアーは沈んでいく。
- ・竿先を軽く2回上にあおる。イメージとして、沈んだルアーを元のレンジに戻す。
- ・竿先を軽く2回横に振る。イメージとして、ルアーを沈んだレンジで誘う。DRなら少し潜るか？
- ・竿先を軽く2回下に引く。イメージとして、ルアーを更に深いところへ潜らせる。DRなら効果大。
- ・誘いを入れずにカウント5だけ止める。止めること、沈ませることを誘いとする。ルアーは更に深いところへ沈む。

○前半は自分がよく釣れた。後半はツレの方がよく釣れた。ルアーは同じ物を使っている。棚のずれか、巻きスピードの違いか。「海上釣堀で棚が10cm違うだけで釣果が変わる」ということを経験した。巻きスピードを微妙に調整するのは難しいので、巻き始めの棚(カウント数)を少し変えてみてはどうか。

【確認事項】

○釣れたルアーをヒントに、ルアーの大きさ・シルエット、色、棚を変えて、更に釣れるパターンを探る。

→ 釣れたルアーで色を変える場合、1投で当たらなければ変える。

→ 同じ棚を違うルアーでする場合、ルアーにより沈む速さや潜る深度が異なるため、2~3投試みる。

→ 持っているルアーをたくさん活用する。1投、2投でルアーチェンジを行う。

○時間をおいて、釣れたルアーで同じ釣り方を試す。

○マジックジャークもボトムの釣りも同様。

○釣れないのなら、同じことを繰り返さない。

○ルアーチェンジの前に、ロッドポジションを変えてやってみる。

○14:30~15:30 休憩時間を入れるとよい。